

クラス	TU105	担当教員	西島 千尋
テーマ	音楽を通して教育・社会・文化について考える		
著書・論文 研究課題等	(著書)『クラシック音楽は、なぜ〈鑑賞〉されるのか—近代日本と西洋芸術の受容』(2010年、新曜社) (翻訳)『ミュージッキング—音楽は行為である』(2011年、水声社) (論文)「アメリカにおけるパフォーマンスアーツの習得過程に関する比較研究」(2013年、『文化資源学研究』) (研究課題)日本の音楽文化、日本の音楽教育史、日本の音楽文化史、アメリカの音楽文化など		
ゼミナール概要			
キーワード：音楽教育、音楽と社会、音楽文化、音楽表現、音楽の歴史			
<p>【目的】 本ゼミの目的は、音楽を通して、教育、社会、文化、について知見を深め、考えることです。音楽からはさまざまな社会問題や歴史が見えてきます。教育政策の課題、社会問題、社会変革、アイデンティティなど、多様な観点があります。また、現代の音楽科教育は変わりつつあり、従来のクラシック音楽だけではなく、世界の音楽文化や日本の伝統的な音楽も視野に入れていきます。それに伴い、幼稚園・保育園から小中学校の義務教育での音楽的な取り組みも多様化しています。 そこで、さまざまな音楽を、教育・社会・文化などの観点から考え、現代の音楽教育、音楽活動に必要な考え方を身につけることを目指します。</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の音楽研究の動向を把握するために、基本的な文献を読む。 ・文献の内容について論じる。 ・各自がテーマと研究方法を設定し、卒業研究や卒業制作（卒業演奏）に取り組む。 <p>【内容】</p> <p>○卒業研究の内容としては以下のようなものが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽教育の歴史 ・音楽教育の現代的な課題 ・音楽療法に関する研究 ・保育園および幼稚園における音楽実践 <p>○本ゼミでは、半期に1度、子ども発達学部の学生・教員が出演する「1541 ライブ」を主催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営 ・出演 <p>いずれかのかたちでゼミの全員がライブに参加します。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>大学のゼミは、音楽教室ではありません。 西島の専門もピアノ演奏ではありません。専門は、音楽教育学、音楽文化学、音楽社会学です。</p> <p>音楽を教える教員・教諭・保育士として、どのような知識・考え方・心構えをもって、子どもたちの前に立つのかを真剣に考えることのできる人を歓迎します。</p> <p>また、本ゼミは卒業研究ではなく、卒業制作（卒業演奏）を認めています。目的のない演奏は認めていません。どのような教育者を目指して、何のために、誰のために、演奏するのか、目的をはっきりさせたうえでの演奏のみを認めています。</p> <p>ライブには企画・運営として関わることもできるので、演奏ができなくてももちろん構いません。</p> <p>一度、西島と相談のうえ、ゼミを決定してください。</p>			